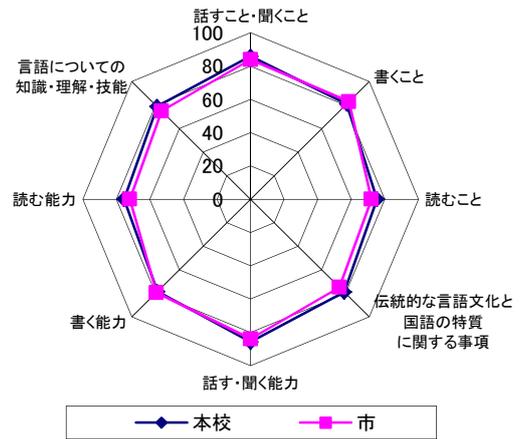


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	85.9	83.9	83.1
	書くこと	81.1	82.9	68.6
	読むこと	75.4	72.0	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.0	74.8	68.7
観点別	話す・聞く能力	85.9	83.9	83.1
	書く能力	78.5	79.3	67.0
	読む能力	75.4	72.0	67.8
	言語についての知識・理解・技能	78.8	75.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は85.9%と、市平均の83.9%を上回っている。</p> <p>○記述式の回答も82.9%と高い正答率となっている。</p>	<p>・スピーチ・ディスカッションの学習材を通して、聞き手の立場や状況を意識した話し方の工夫や説明の仕方の工夫について、継続的に指導する。</p>
書くこと	<p>平均正答率は81.1%と、今回の調査で唯一、市の平均である82.9%を下回った。</p> <p>○「自分の立場を明確にして書くことができる」という観点では93.4%と高い正答率となっている。</p> <p>●「段落の指定条件を満たしている」という観点では、市の平均を4.5%下回っている。</p>	<p>・指定した語句を用いたり、書き出しを指定した100字程度の短作文を書く機会を増やしたい。</p> <p>・また、様々なテーマにおいて自分の考えを深めることにも力を注いでいきたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は75.4%と、市平均の72.0%を大きく上回っている。</p> <p>○「新聞記事を読み取り、内容に合う具体例を選択する」問題での正答率は市の平均を2.7%上回っている。</p> <p>●「新聞記事の内容を読み取り、その内容をまとめる」問題での正答率は市の平均を4.1%上回っているものの、46.2%と低くなっている。</p>	<p>・説明文の読解については、接続語に目を向けさせ段落間の関係や、文章の構成をとらえる機会を増やしていきたい。さらに、発展学習として新聞記事などの様々な傾向・テーマの文章を扱い、表現の特徴や展開の仕方を比較させる機会を設けていきたい。</p> <p>・文学的作品の読解力は、読書指導の充実が成果となってあらわれたと考えられるので、今後も継続していきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は79.0%と、市平均の74.8%を大きく上回っている。</p> <p>○特に「易しい」という同訓異字の書き取りにおいて、18.9%も正答率が高かった。</p> <p>●「敬語」についての出題では、市の平均正答率は上回ったものの、39.9%と理解が十分でないことが明らかになった。</p>	<p>・文学的教材においても品詞に関する問題を生徒たちに出題するなど、年間を通じて確認することが定着につながっていると考えられる。今後も継続して授業に取り入れていきたい。</p> <p>・次に敬語に関しては、実際に起こりうる場面を設定して、実践的な敬語の使い方を、会話形式など形態を工夫しながら確認・理解していけるような授業展開を取り入れる。</p>